

業務報告書

第82期

2025年4月1日～2026年3月31日



打吹山 ©倉吉観光MICE協会



この街と生きていく。もっと大きくあなたの未来

倉吉信用金庫

KURAYOSHI SHINKIN BANK

ごあいさつ

皆様には、平素より倉吉信用金庫に対しまして、格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに当金庫第82期の事業概要と決算状況をご報告するに当たり、日ごろのご支援とご愛顧に対し、心から厚くお礼申し上げます。

令和7年度の日本の金融経済環境は緩やかな景気回復と金融政策正常化への移行が大きな特徴であり、特に賃金上昇と物価上昇の定着、日本銀行の政策転換、海外経済の不透明感が金融機関へ大きな影響を与えております。

日本経済は、個人消費・設備投資を中心に緩やかな回復基調にあります。政府は令和8年度の実質GDP成長率を1.3%程度、名目成長率を3.4%程度と見込んでおり、賃上げ継続、個人消費の回復、設備投資の増加、DX・GXの成長投資、政府の経済対策が下支え要因となっています。一方で米国経済減速、通商政策・関税問題、中国経済停滞、地政学リスク、金融市場変動など外部リスクは依然と大きい状況です。金融環境の変化は長年続いた超金利政策から、徐々に正常化へ向かっています。その結果、市場金利上昇、預金金利上昇圧力、調達コスト増加、債券価格の下落など、金融機関にとって収益機会とリスクの両面が生じています。今後の金融経済に期待される事として、単なる景気回復だけでなく、金利のある世界の中で、持続可能で地域に根差した成長が重要なテーマになると考えています。

さて、鳥取県内の経済情勢は、全体としては緩やかな回復基調にあるものの、物価高・人口減少・人手不足など構造的課題が重く、先行き不透明感が強い状況といえます。景気動向指数では、一部持ち直しの動きが見られるものの、県内景況感は全国平均を下回る状況が続いています。県内企業では原油価格高騰、原材料価格上昇、円安による輸入コスト増などが大きな経営圧迫要因となっています。特に中小企業では価格転嫁が十分進まず、収益悪化懸念が強まっています。また、生産年齢人口の減少、高齢化、技術者不足などの人手不足が深刻化しています。鳥取県は中小企業比率が高く、地域金融機関の役割が非常に大きい地域だと考えています。そのような中、当金庫は、鳥取県中部地区を主たる経営基盤とする唯一の金融機関であり、「地元と生きる」を経営理念とし、企業の資金繰り支援はもちろんのこと、創業支援、企業再生支援、コンサルティング機能の発揮等に注力し、地域貢献に誠心誠意努めています。

鳥取県中部地区を主たる営業基盤とする当金庫にとって、今後の事業環境は、「地域経済縮小への対応」と「地域価値創造」の両立が最大のテーマになると考えられます。地域金融機関として地域商社機能、産学官連携、観光支援、農業支援、地域ブランド化など金融を超えた役割が期待されています。特に鳥取県中部では、観光・農業・食品加工・医療福祉など地域の特性を活かした支援余地があると考えます。当金庫は「小さくても最良のくらしん」を掲げています。地域密着、顧客との信頼関係、機動力、柔軟性、そして顔の見える金融を強みとしています。これからも地域で最も相談しやすい金融機関を目指して参ります。

今後とも倍旧のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶と致します。

令和8年6月

理事長 安藤正樹

企業理念

基本理念

地元と共に生きる

経営理念

1. 信 頼 倉吉信用金庫は、法令やルールを遵守すると共に社会的規範を全うするため、法令等遵守を経営の最優先課題と位置づけ、誠実かつ公正な業務運営を行います。
1. 変 革 倉吉信用金庫は、時代の変化や、地域の要請を的確に捉え、迅速に対応するため、積極かつ堅実な経営を行います。
1. 地域貢献 倉吉信用金庫は、地域のすべての企業、勤労者、家庭の繁栄と幸せをもたらすため貢献します。

経営方針

倉吉信用金庫の創業の原点である相互扶助の精神を大切に、「地域の為に貢献する」という使命感を再認識し、今こそ地域社会の再生と活性化を目指し「使命共同体」としてその中核となっており、中小零細な地元企業の支援、地域住民の豊かな生活の向上、活力ある地域社会の実現に向けて貢献していきます。そのために強固な経営基盤をさらに確固たるものにし、“小さくても最良のくらしん”を実現します。

行動基準

1. 礼 儀 我々は、礼儀を基本とした誠意ある行動で、地域からの信頼を高めます。
2. 元 気 我々は、健康管理を怠らず、明るく、気みなぎる行動で、地域からの共感を受けます。
3. 向 上 我々は、自己啓発を心掛け、仕事に創意を生かし、顧客の満足度を高め地域に奉仕します。

第 82 期
貸 借 対 照 表

2026年3月31日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)	百万円	(負 債 の 部)	百万円
現 金	1,338	預 金 積 金	83,881
預 け 金	31,106	当 座 預 金	1,532
買 入 金 銭 債 権	15	普 通 預 金	33,303
有 価 証 券	15,217	貯 蓄 預 金	36
国 債	2,209	通 知 預 金	95
地 方 債	3,865	定 期 預 金	46,285
社 債	6,837	定 期 積 金	2,049
株 式	703	そ の 他 の 預 金	580
そ の 他 の 証 券	1,600	借 用 金	46
貸 出 金	40,338	借 入 金	46
割 引 手 形	31	そ の 他 負 債	335
手 形 貸 付	758	未 決 済 為 替 借	21
証 書 貸 付	36,886	未 払 費 用	163
当 座 貸 越	2,662	給 付 補 填 備 金	1
そ の 他 資 産	669	未 払 法 人 税 等	1
未 決 済 為 替 貸	14	前 受 収 益	4
信 金 中 金 出 資 金	490	払 戻 未 済 金	1
前 払 費 用	4	払 戻 未 済 持 分	0
未 収 収 益	150	職 員 預 り 金	35
そ の 他 の 資 産	9	リ ー ス 債 務	55
有 形 固 定 資 産	691	そ の 他 の 負 債	48
建 物	101	賞 与 引 当 金	24
土 地	507	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	45
リ ー ス 資 産	44	偶 発 損 失 引 当 金	70
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	37	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	0
無 形 固 定 資 産	21	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	73
ソ フ ト ウ ェ ア	19	債 務 保 証	724
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	1	負 債 の 部 合 計	85,203
前 払 年 金 費 用	146	(純 資 産 の 部)	
繰 延 税 金 資 産	101	出 資 金	666
債 務 保 証 見 返	724	普 通 出 資 金	666
貸 倒 引 当 金	△415	利 益 剰 余 金	4,507
(うち個別貸倒引当金)	(△366)	利 益 準 備 金	667
		そ の 他 利 益 剰 余 金	3,839
		特 別 積 立 金	3,622
		当 期 未 処 分 剰 余 金	217
		処 分 未 済 持 分	△0
		会 員 勘 定 合 計	5,173
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△599
		土 地 再 評 価 差 額 金	178
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△420
		純 資 産 の 部 合 計	4,752
資 産 の 部 合 計	89,955	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	89,955

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第 82 期
損 益 計 算 書

2025年4月1日から
2026年3月31日まで

科 目	金 額
	千円 千円
経 常 収 益	1,238,967
資 金 運 用 収 益	1,120,340
貸 出 金 利 息	830,201
預 け 金 利 息	153,881
有 価 証 券 利 息 配 当 金	124,922
そ の 他 の 受 入 利 息	11,334
役 務 取 引 等 収 益	79,461
受 入 為 替 手 数 料	31,189
そ の 他 の 役 務 収 益	48,272
そ の 他 業 務 収 益	6,428
そ の 他 の 業 務 収 益	6,428
そ の 他 経 常 収 益	32,736
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	2,942
償 却 債 権 取 立 益	24,991
株 式 等 売 却 益	3,743
そ の 他 の 経 常 収 益	1,059
経 常 費 用	1,071,345
資 金 調 達 費 用	186,575
預 金 利 息	184,726
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	997
借 用 金 利 息	651
そ の 他 の 支 払 利 息	200
役 務 取 引 等 費 用	113,235
支 払 為 替 手 数 料	10,205
そ の 他 の 役 務 費 用	103,030
そ の 他 業 務 費 用	—
経 費	724,398
人 件 費	376,383
物 件 費	314,259
税 金	33,756
そ の 他 経 常 費 用	47,135
貸 出 金 償 却	2,269
株 式 等 売 却 損	524
そ の 他 の 経 常 費 用	44,341
経 常 利 益	167,621
特 別 利 益	19
固 定 資 産 処 分 益	19
特 別 損 失	0
固 定 資 産 処 分 損	0
税 引 前 当 期 純 利 益	167,641
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	1,553
法 人 税 等 調 整 額	△3,803
法 人 税 等 合 計	△2,250
当 期 純 利 益	169,892
繰 越 金 (当 期 首 残 高)	47,726
当 期 未 処 分 剰 余 金	217,618

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

第 82 期
剰 余 金 処 分

2025年4月1日から
2026年3月31日まで

科 目	金 額
	円
当 期 未 処 分 剰 余 金	217,618,721
積 立 金 取 崩 額	940,000
利 益 準 備 金 限 度 超 過 取 崩 額	940,000

これを下記のとおり処分します。

科 目	金 額
	円
剰 余 金 処 分 額	176,656,848
普通出資に対する配当金(年4%)	26,656,848
特 別 積 立 金	150,000,000
繰 越 金 (当 期 末 残 高)	41,901,873

上記のとおり報告いたします。

2026年6月

倉吉信用金庫

理 事 長	安 藤 正 樹	理事・相談役	笠 見 和 則
専務理事	藤 井 和 啓	理 事	谷 口 宗 弘
常務理事	吉 田 孝 宏	理 事	倉 都 祥 行
常勤理事	船 越 清	理 事	山 田 悌 次
常勤理事	伊 澤 茂 雄		

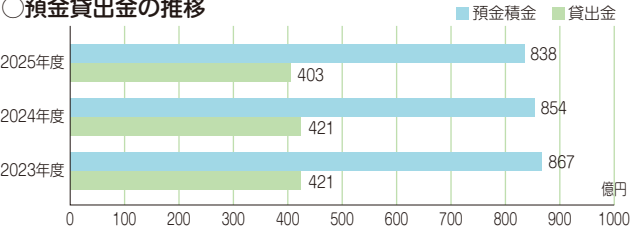
前記各項目を精査しその正確なることを認めます。

2026年6月

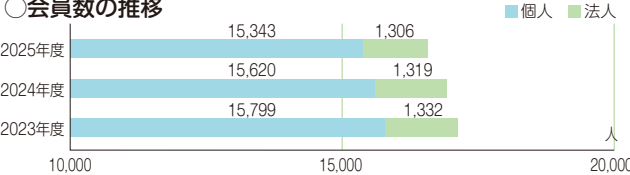
常勤監事	松 原 勲	員外監事	松 井 幹 雄
		監 事	松 本 美恵子

業 績 の 推 移

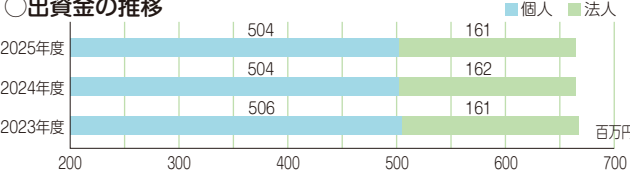
○預金貸出金の推移



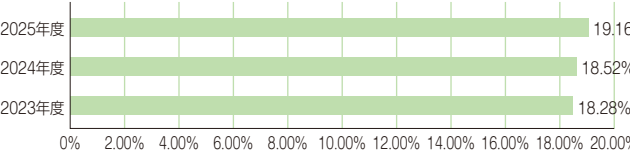
○会員数の推移



○出資金の推移



○自己資本比率



○信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円)

	2024年度	2025年度
金融再生法上の不良債権 (A)	2,982	3,013
破産再生債権及びこれらに準ずる債権	651	535
危険債権	1,939	2,132
要管理債権	391	345
三月以上延滞債権	—	—
貸出条件緩和債権	391	345
保全額 (B)	2,610	2,646
担保・保証等 (C)	2,239	2,269
貸倒引当金 (D)	370	376
保全率 (B) / (A) (%)	87.51	87.81

- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の中立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
- 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
- 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
- 「担保・保証等による回収見込額」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
- 「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債（その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）によるものに限る。）、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返りの各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券（使用貸借又は貸借契約によるものに限る。）です。

庶務の概要

〔総代会〕

2025年 6月26日 当金庫本店において第81期通常総代会を開催、下記議案を付議し、原案通り承認可決されました。

第1号議案 第81期剰余金処分について
第2号議案 理事の選任について
第3号議案 監事の選任について
第4号議案 退任役員に係る役員退職慰労金の支給について

〔理事会〕

期中において理事会を監事同席のもと年間11回開催しました。

〔監事会〕

定例監査を実施したほか監事会を年間5回開催しました。

〔登記に関する事項〕

2025年 4月 出資の総口数及び総額の変更登記
7月 役員に関する事項の変更登記

〔庶務事項〕

2025年 4月10日 「アメリカの関税引き上げ」に関する相談窓口の設置
5月 7日 鳥取県警および中国財務局鳥取財務事務所との金融犯罪被害防止にかかる連携協定の締結
6月20日 しんきん地域創生ネットワークと倉吉市観光ビジョン策定に協力
6月23日 サマーキャンペーン定期預金「絆」発売

2025年 6月26日 第11代理事長 安藤正樹就任
7月31日 「ディスクロージャー誌」発行
8月 2日 倉吉打吹まつり・みつぼし踊り参加
8月 5日 法人向け特別金利定期預金「繫」発売
9月 1日 本店営業部・浦安支店・倉吉駅前支店・西倉吉支店 窓口業務の営業時間変更
9月18日 くらしんゴルフコンペ開催
10月 1日 借換専用特別金利住宅ローン・特別金利住宅ローン発売
10月14日 まちゼミ創業計画書策定支援
10月15日 倉吉市における事業承継支援に関する連携協定の締結
10月24日 日本政策金融公庫と県内4金融機関による危機事象発生における業務連携に関する覚書締結
10月25日 第23回くらしん健康ウォーク開催
11月26日 ウインターキャンペーン特別金利定期預金発売
11月27日 「ミニディスクロージャー誌」発行
12月 3日 「高病原性鳥インフルエンザ」に関する相談窓口の設置
12月 8日 社会福祉施設等へ新米寄贈
2026年 1月19日 振込詐欺防止、QR公金収納高機能ATM導入（本店営業部・倉吉駅前支店、西倉吉支店、羽合出張所）（～2/4）
3月 2日 相続専用定期預金「櫛」発売
3月24日 新社会人・給与振込特典キャンペーン開催
3月27日 「中東情勢の緊迫化」に伴う相談窓口の設置



重点項目

1 パートナーシップの発揮

- 協同組織として、パートナーシップの発揮や地域社会とのネットワークの更なる強化に努め、地域全体で持続可能な社会の実現を目指します。
- 複雑化、多様化する地域社会の課題やニーズに適切に対応するため、全国の信用金庫や中央機関等との業界ネットワークを積極的に活用することで、地域の制約を超えた質の高いサービスの提供に努めます。



2 地域経済の持続的繁栄

- 社会経済環境に応じて変化するお客さまのニーズや課題を踏まえた信用金庫らしいサービスの提供に努め、地域とともに持続的な発展を目指します。
- 中小零細事業者の経営サポートを一段と強化し、事業活動の持続可能性を高めることを通じて、地域経済の維持・発展に貢献します。
- 技術革新や社会構造の変化を踏まえ、先進的な金融サービスの提供への取組みを通じて地域経済の発展に貢献します。
- 地域の将来を担う次世代の人材確保や育成につながる取組みをサポートします。



3 暮らしやすい地域社会の実現

- 地域を支えるみなさまの健康や福祉の増進につながる取組みに努めます。
- 高齢のお客さまにとって、わかりやすく利用しやすい金融サービスの提供を目指します。
- 地域のみなさまの将来に向けた安定的な資産形成をサポートします。
- 地域や関係機関との連携のもと、犯罪や不正の防止につながる取組みに努めます。
- 地域の貴重な資源である環境の保全につながる事業や取組みをサポートします。
- 職員にとって働きやすく多様な価値観を大切に職場環境の実現に努めます。



未来を応援！ はじめての口座に

みらい応援 U-18 口座開設キャンペーン



条件達成で **5,000** 円プレゼント!

新しく普通預金口座を開設し、条件を満たした方が対象です **エントリー不要**



対象となる方

- 鳥取県または真庭市に定住の方
- 18歳以下のお子さま名義で、新たに普通預金口座を開設された方
- すでに普通預金口座をお持ちの方は対象外
- 令和9年3月31日時点で満18歳以下の方



条件

- キャンペーン期間中に普通預金口座を開設
- 令和9年2月末時点で残高5万円以上の方



キャンペーン期間

令和8年

5月25日(月)

～

令和9年

2月28日(日)



詳細情報は**こちら**



KURASHIN
KURAYOSHI SHINKIN BANK

店舗のご案内

店舗名	住所	電話番号	店舗営業日	ATM稼働時間 平日 休日
本店営業部	鳥取県倉吉市昭和町1丁目60番地	0858(22)6108	月～金曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:00～21:00 9:00～19:00
三朝出張所	鳥取県東伯郡三朝町大瀬1036-4	0858(43)2111	火・木曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:00～19:00 9:00～19:00
うつぶき支店	鳥取県倉吉市大正町1075-4	0858(22)4154	月～金曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:00～19:00 9:00～19:00
浦安支店	鳥取県東伯郡琴浦町浦安213-2	0858(52)2351	月～金曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:00～19:00 9:00～19:00
由良出張所	鳥取県東伯郡北栄町由良宿551-4	0858(37)3711	月・水・金曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:00～19:00 9:00～19:00
倉吉駅前支店	鳥取県倉吉市上井町2丁目3-9	0858(26)2951	月～金曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:00～21:00 9:00～19:00
羽合出張所	鳥取県東伯郡湯梨浜町田後340-3	0858(35)2641	月～金曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:00～21:00 9:00～19:00
東郷出張所	鳥取県東伯郡湯梨浜町龍島536-3	0858(32)0631	月・水・金曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:00～19:00 9:00～19:00
西倉吉支店	鳥取県倉吉市西倉吉町20-15	0858(28)3111	月～金曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:00～21:00 9:00～19:00
西倉吉支店関金出張所	鳥取県倉吉市関金町関金宿247-1	0858(45)3121	火・木曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:00～19:00 9:00～19:00
真庭支店	岡山県真庭市蒜山下徳山43-3	0867(66)4368	月～金曜日 (昼休業11:40～12:40)	8:45～19:00 9:00～19:00
本部	鳥取県倉吉市昭和町1丁目60番地	0858(22)1111		

店外ATMコーナー

倉吉市役所第2庁舎出張所	鳥取県倉吉市堺町2丁目253番地1	8:00～21:00 9:00～19:00
パープルタウン出張所	鳥取県倉吉市山根557-1	9:00～21:00 9:00～19:00
アパート出張所	鳥取県東伯郡琴浦町八橋371	9:00～20:00 9:00～19:00